

委 託 業 務 設 計 書									
施 行 年 度	令和2年度		契 約 番 号			伊賀市			
			2020000361						
業 務 名	令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁点検業務委託 大山田・青山・上野工区					設 計 番 号			
						02-39-0024-3-004			
履 行 場 所	伊賀市 大山田・青山・上野 管内					設計・積算年月日			
業 務 区 分	設計業務					積算者		検算者	
設 計 金 額	円 内消費税相当額 円								
工 期	契約日から210 日	延	長	m	幅	員	m		
業 務 の 大 要							起 工 理 由		
橋梁点検 橋梁点検 (L=15.0m未満) 梯子 55 橋 橋梁点検 (L=15.0m以上) 点検車 18 橋 橋梁点検 (L=15.0m以上) 梯子 51 橋 健全度評価 (L=15.0m未満) 55 橋 健全度評価 (L=15.0m以上) 69 橋							別 紙		

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計・解析・調査業務								
01:設計・解析・調査								
橋梁点検業務委託				式				
					1.000			
直接人件費				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
旅費交通費				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
直接経費（成果品作成費分）				式				
					1.000			
直接原価				式				
					1.000			
その他原価				式				
					1.000			
業務原価				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	一般管理費等			式				
					1.000			
設計・解析・調査業務価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
業務委託料				式				
					1.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
業務計画書作成 (100橋以上)	業務				第0001号単価表
		1.000			
図面作成	橋				第0002号単価表
		124.000			
現地踏査	橋				第0003号単価表
		124.000			
橋梁点検 橋長15m未満 梯子	橋				第0004号単価表
		55.000			
橋梁点検 橋長15m以上 点検車	橋				第0005号単価表
		18.000			
橋梁点検 橋長15m以上 梯子	橋				第0006号単価表
		51.000			
健全度評価 L=15m未満	橋				第0007号単価表
		55.000			
健全度評価 L=15m以上	橋				第0008号単価表
		69.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
点検調書作成	橋				第0009号単価表	
		124.000				
打合せ協議	業務				第0010号単価表	
		1.000				
合 計						

第 0002 号 明細表 旅費交通費						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ライトバン運転	日				第0001号施工単価表	
橋梁点検車運転経費	日				第0011号単価表	
合 計						

ライトバン運転				第 0001 号 施工単価表	
				1.000 日	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
ライトバン	時間				
ライトバン	日				
雑品	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

SJ0010 業務計画書作成（100橋以上）		第 0001 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師（A）	人				
技師（C）	人				
技術員	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0020 図面作成		第 0002 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0030 現地踏査		第 0003 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0060 橋梁点検 橋長15m未満 梯子		第 0004 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0070 橋梁点検 橋長15m以上 点検車		第 0005 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0080 橋梁点検 橋長15m以上 梯子		第 0006 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0090 健全度評価 L=15m未満		第 0007 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0100 健全度評価 L=15m以上		第 0008 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0110 点検調書作成		第 0009 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0120 打合せ協議		第 0010 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0140 橋梁点検車運転経費		第 0011 号単価表 1 日 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
橋梁点検車賃料	日				
合 計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

数 量 総 括 表

[illegible]

番号	国交省管理用番号	道路橋名	市道名	共架年	橋長(m)	幅員(m)	所在地		緯度	経度	点検評価
1	BR0-242161-00106	領主谷2号橋	市道岡波下神戸線	1975	2.4	6.6	伊賀市	下神戸	34° 41′ 49.57″	136° 10′ 42.15″	梯子
2	BR0-242161-00107	領主谷橋	市道岡波下神戸線	1975	12.5	5.2	伊賀市	下神戸	34° 41′ 42.38″	136° 10′ 41.61″	梯子
3	BR0-242161-00109	北川橋	市道古郡領主谷線	1990	10	4	伊賀市	古郡	34° 40′ 54.01″	136° 09′ 36.01″	梯子
4	BR0-242161-00112	宮ノ本橋	市道古郡領主谷線	1974	8.4	4.1	伊賀市	下神戸	34° 41′ 31.29″	136° 10′ 42.30″	梯子
5	BR0-242161-00149	出屋敷1号橋	市道出屋敷古郡線	1972	13	3	伊賀市	朝日ヶ丘町	34° 40′ 41.07″	136° 08′ 55.80″	梯子
6	BR0-242161-00151	三谷橋	市道三谷線	1961	4	4.4	伊賀市	比土	34° 39′ 16.22″	136° 09′ 28.73″	梯子
7	BR0-242161-00332	押久保橋	市道上神戸押久保線	1974	3	5.4	伊賀市	上神戸	34° 41′ 07.40″	136° 08′ 33.20″	梯子
8	BR0-242161-00333	半田1号橋	市道上小場大北線	1979	3	6.6	伊賀市	上神戸	34° 41′ 13.90″	136° 09′ 00.40″	梯子
9	BR0-242161-00334	近代橋	市道出屋敷上小場線	1958	14	4	伊賀市	上神戸	34° 40′ 54.30″	136° 08′ 55.00″	梯子
10	BR0-242161-00335	中川原橋	市道出屋敷上小場線	1959	14	3.8	伊賀市	上神戸	34° 41′ 04.90″	136° 08′ 59.50″	梯子
11	BR0-242161-00336	城ノ越橋	市道古郡里線	1990	10	4.8	伊賀市	比土	34° 40′ 39.70″	136° 09′ 37.60″	梯子
12	BR0-242161-00337	城ノ越3号橋	市道古郡里線	1956	2	4.9	伊賀市	比土	34° 40′ 31.70″	136° 09′ 36.40″	梯子
13	BR0-242161-00338	稲葉1号橋	市道稲葉線	1989	3	3.4	伊賀市	比土	34° 40′ 36.00″	136° 09′ 28.20″	梯子
14	BR0-242161-00340	松ヶ谷1号橋	市道高瀬庄田線	1960	9	3.6	伊賀市	比土	34° 39′ 59.70″	136° 08′ 50.60″	梯子
15	BR0-242161-00341	新太郎橋	市道市場馬場池線	1966	8	4.4	伊賀市	比土	34° 39′ 30.40″	136° 09′ 25.90″	梯子
16	BR0-242161-00342	古屋敷1号橋	市道栢川丸山線	1955	4	4.1	伊賀市	栢川	34° 42′ 08.30″	136° 09′ 30.80″	梯子
17	BR0-242161-00343	丸山東橋	市道丸山上林線	1961	4	2.6	伊賀市	下神戸	34° 41′ 55.50″	136° 09′ 44.50″	梯子
18	BR0-242161-00344	駅裏橋	市道丸山上林線	1929	2	6.5	伊賀市	上林	34° 41′ 39.80″	136° 09′ 40.60″	梯子
19	BR0-242161-00346	中原橋	市道中原線	1931	2	5.1	伊賀市	上林	34° 41′ 27.40″	136° 09′ 14.70″	梯子
20	BR0-242161-00347	中原1号橋	市道中原線	1922	3	3.8	伊賀市	上林	34° 41′ 26.70″	136° 09′ 16.20″	梯子
21	BR0-242161-00348	湯山谷橋	市道領主谷日生高校線	1974	2	6	伊賀市	下神戸	34° 41′ 28.20″	136° 10′ 52.50″	梯子
22	BR0-242161-00349	森橋	市道森北川線	1972	7	3	伊賀市	古郡	34° 40′ 59.80″	136° 09′ 15.30″	梯子
23	BR0-242161-00350	森1号橋	市道森2号線	1961	6	2.7	伊賀市	古郡	34° 40′ 59.90″	136° 09′ 17.80″	梯子
24	BR0-242161-00351	無名橋1	市道森東代線	1990	10	6	伊賀市	比土	34° 40′ 42.80″	136° 09′ 33.80″	梯子
25	BR0-242161-00352	無名橋1	市道山下城ノ越線	1990	5	2.3	伊賀市	比土	34° 40′ 36.00″	136° 09′ 32.50″	梯子
26	BR0-242161-00353	恩城地橋	市道西切中川原線	1957	2	3.5	伊賀市	上神戸	34° 40′ 49.20″	136° 09′ 04.60″	梯子
27	BR0-242161-00354	深狭間谷橋	市道棚田きじが台線	1974	4	2.3	伊賀市	上神戸	34° 40′ 23.50″	136° 08′ 36.80″	梯子
28	BR0-242161-00355	深狭間1号橋	市道棚田きじが台線	1974	4	2.1	伊賀市	上神戸	34° 40′ 24.10″	136° 08′ 28.90″	梯子
29	BR0-242161-00357	立石1号橋	市道中出突保池線	1976	2	3.6	伊賀市	上神戸	34° 40′ 51.50″	136° 08′ 41.80″	梯子
30	BR0-242161-00359	宮ノ本1号橋	市道宮ノ本湯山谷線	1974	6	4.7	伊賀市	下神戸	34° 41′ 33.50″	136° 10′ 40.80″	梯子
31	BR0-242161-00360	半田橋	市道半田中出の1線	1979	3	4.5	伊賀市	上神戸	34° 41′ 14.70″	136° 08′ 56.10″	梯子
32	BR0-242161-00835	樋之口橋	市道柏尾福川線	1949	12.5	2.6	伊賀市	柏尾	34° 40′ 08.27″	136° 11′ 56.29″	梯子
33	BR0-242161-00839	両国橋	市道柏尾桐ヶ丘線	1960	4.9	2	伊賀市	柏尾	34° 39′ 56.17″	136° 11′ 31.47″	梯子
34	BR0-242161-00840	上後瀬橋	市道羽根下後瀬線	1962	2.8	3.6	伊賀市	青山羽根	34° 40′ 03.95″	136° 10′ 07.60″	梯子
35	BR0-242161-00841	深谷橋	市道羽根深谷線	1964	2.2	2.4	伊賀市	青山羽根	34° 39′ 39.17″	136° 10′ 26.55″	梯子
36	BR0-242161-00843	沢代橋1	市道大縄橋笠戸線	1925	3.9	6.5	伊賀市	阿保	34° 40′ 12.38″	136° 10′ 23.17″	梯子
37	BR0-242161-00844	沢代橋2	市道大縄橋笠戸線	1925	4.2	9.2	伊賀市	阿保	34° 40′ 14.40″	136° 10′ 19.20″	梯子
38	BR0-242161-00845	七谷橋	市道下川原福川線	1953	2.3	1.7	伊賀市	下川原	34° 41′ 08.30″	136° 11′ 49.00″	梯子
39	BR0-242161-00846	七谷2号橋	市道下川原福川線	1980	4.3	3	伊賀市	下川原	34° 40′ 57.08″	136° 11′ 56.02″	梯子
40	BR0-242161-00851	薬師橋	市道伊勢路中線	1931	10.6	3.6	伊賀市	伊勢路	34° 40′ 43.51″	136° 12′ 51.13″	梯子
41	BR0-242161-00869	岩崎橋	市道勝地妙楽地線	1953	2.4	5.4	伊賀市	妙楽寺	34° 41′ 58.35″	136° 13′ 32.60″	梯子
42	BR0-242161-00870	伊勢路橋	市道伊勢路六地藏道筋線	1930	8	5.7	伊賀市	伊勢路	34° 40′ 48.84″	136° 12′ 41.17″	梯子
43	BR0-242161-00956	石神橋	市道大山田伊賀線	1977	8.4	6.7	伊賀市	甲野	34° 46′ 19.30″	136° 13′ 15.58″	梯子
44	BR0-242161-00957	荒堀橋	市道大山田伊賀線	1978	10.4	6.7	伊賀市	甲野	34° 46′ 38.29″	136° 13′ 51.08″	梯子
45	BR0-242161-00986	吉が前橋	市道中ノ瀬線	不明	2.9	3.5	伊賀市	真泥	34° 46′ 29.98″	136° 11′ 25.25″	梯子
46	BR0-242161-00987	中の瀬橋	市道中ノ瀬線	1954	8.1	2.8	伊賀市	真泥	34° 46′ 33.30″	136° 11′ 02.10″	梯子
47	BR0-242161-00989	第一号川端橋	市道前川原城ヶ前線	1956	3.5	2.9	伊賀市	畑村	34° 46′ 05.78″	136° 12′ 11.58″	梯子
48	BR0-242161-00999	出口橋	市道四ツ千谷橋	1964	5.3	4	伊賀市	炊村	34° 47′ 05.12″	136° 11′ 58.34″	梯子
49	BR0-242161-01000	千谷橋	市道四ツ千谷橋	1964	4.3	3.6	伊賀市	炊村	34° 47′ 12.09″	136° 12′ 02.51″	梯子
50	BR0-242161-01007	第四号東垣内橋	市道東垣内小婦希橋	1955	4.4	4	伊賀市	千戸	34° 46′ 33.28″	136° 11′ 41.78″	梯子
51	BR0-242161-01010	水分橋	市道水丹青木線	1956	4	5	伊賀市	炊村	34° 46′ 23.29″	136° 12′ 42.21″	梯子
52	BR0-242161-01011	第二号川端橋	市道川端線	1956	2.1	2.1	伊賀市	炊村	34° 46′ 05.30″	136° 12′ 13.00″	梯子
53	BR0-242161-01013	第一号北裏橋	市道町赤川線	1964	4.2	10	伊賀市	平田	34° 46′ 04.40″	136° 12′ 43.30″	梯子
54	BR0-242161-01056	古屋敷橋	市道古屋敷線	1978	6.3	3	伊賀市	平田	34° 45′ 52.62″	136° 12′ 32.79″	梯子
55	BR0-242161-01484	西法花寺橋	市道阿保青山線	1986	3.5	9.6	伊賀市	阿保	34° 39′ 59.00″	136° 10′ 37.60″	梯子

平均橋長 平均幅員
橋長15m未満 梯子 5 5 橋 5.6 4.4

番号	国交省管理用番号	道路橋名	市道名	共架年	橋長(m)	幅員(m)	所在地	緯度	経度	点検評価
1	BR0-242161-01218	真泥大橋	市道大山田友生線	1983	86.4	8.7	伊賀市 畑村	34° 46′ 13.05″	136° 11′ 57.02″	点検車
2	BR0-242161-01240	真泥橋	市道真泥線	1937	84.3	4.5	伊賀市 真泥	34° 46′ 34.03″	136° 11′ 33.73″	点検車
3	BR0-242161-01246	柏尾大橋	市道阿保奥鹿野線	1930	19.2	3.7	伊賀市 柏尾	34° 40′ 14.11″	136° 11′ 29.95″	点検車
4	BR0-242161-01247	大村橋	市道別府小学校前線	1986	50.7	8.3	伊賀市 別府	34° 40′ 17.90″	136° 11′ 05.88″	点検車
5	BR0-242161-01248	羽根橋	市道阿保羽根線	1972	40	4	伊賀市 青山羽根	34° 39′ 47.25″	136° 10′ 01.58″	点検車
6	BR0-242161-01249	阿保橋	市道阿保羽根線	1957	54.2	5.9	伊賀市 阿保	34° 40′ 16.22″	136° 10′ 43.52″	点検車
7	BR0-242161-01303	するかで橋	市道霧生天照寺線	1974	20.5	4	伊賀市 霧生	34° 36′ 57.32″	136° 14′ 13.31″	点検車
8	BR0-242161-01304	戎橋	市道阿保保育所前線	1955	57.6	3	伊賀市 阿保	34° 40′ 10.60″	136° 10′ 35.11″	点検車
9	BR0-242161-01313	下神戸橋	市道下神戸別府線	1954	113.4	4.2	伊賀市 下神戸	34° 41′ 53.00″	136° 09′ 23.60″	点検車
10	BR0-242161-01329	岩之上橋	市道武/内大佛線	1983	35	5	伊賀市 上阿波	34° 46′ 05.27″	136° 16′ 57.57″	点検車
11	BR0-242161-01436	新天神橋	市道狩ヶ谷針/木線	1981	40	7	伊賀市 上阿波	34° 45′ 34.34″	136° 15′ 52.90″	点検車
12	BR0-242161-01437	子延橋	市道子延猿野線	1934	28	3.6	伊賀市 上阿波	34° 46′ 18.13″	136° 17′ 00.99″	点検車
13	BR0-242161-01455	新田中橋	市道羽根東出間処線	2007	59	4	伊賀市 青山羽根	34° 39′ 51.78″	136° 10′ 18.70″	点検車
14	BR0-242161-01460	出後橋	市道出後線	1955	48	4.5	伊賀市 出後	34° 45′ 17.61″	136° 13′ 37.63″	点検車
15	BR0-242161-01465	三谷橋	市道広瀬出後線	1983	39.1	7	伊賀市 広瀬	34° 44′ 44.36″	136° 15′ 02.30″	点検車
16	BR0-242161-01466	歌野橋	市道広瀬出後線	1982	22.6	7	伊賀市 広瀬	34° 44′ 49.72″	136° 14′ 44.61″	点検車
17	BR0-242161-01467	高北橋	市道広瀬出後線	1987	18.6	7	伊賀市 出後	34° 44′ 53.72″	136° 13′ 48.41″	点検車
18	BR0-242161-01468	第15号島の川橋	市道平松代元町線	1969	23	3.6	伊賀市 上阿波	34° 46′ 18.47″	136° 17′ 19.38″	点検車
19	BR0-242161-01241	大佛橋	市道大佛寺線	1971	35.9	4.3	伊賀市 富永	34° 46′ 00.54″	136° 16′ 43.96″	梯子
20	BR0-242161-01242	第1号前川原橋	市道畑村赤坂線	1973	20.7	6	伊賀市 畑村	34° 46′ 16.90″	136° 12′ 23.32″	梯子
21	BR0-242161-01243	第一号馬野川橋	市道奥馬野線	1968	17.4	3.6	伊賀市 奥馬野	34° 48′ 34.88″	136° 17′ 24.05″	梯子
22	BR0-242161-01244	みこずい橋	市道奥馬野線	1963	15	3.6	伊賀市 奥馬野	34° 43′ 34.54″	136° 16′ 15.20″	梯子
23	BR0-242161-01245	大坪橋	市道下川原福川線	1994	44.5	3.5	伊賀市 下川原	34° 40′ 52.65″	136° 12′ 06.26″	梯子
24	BR0-242161-01250	阿保橋	市道阿保羽根線	1976	55.5	2	伊賀市 阿保	34° 40′ 16.22″	136° 10′ 43.52″	梯子
25	BR0-242161-01251	田中橋	市道伊勢路六地藏線	1967	17.4	4.5	伊賀市 伊勢路	34° 40′ 56.17″	136° 12′ 31.73″	梯子
26	BR0-242161-01252	床並橋	市道出合床並中出線	1978	23	4.9	伊賀市 高尾	34° 36′ 46.29″	136° 11′ 08.05″	梯子
27	BR0-242161-01258	高瀬橋	市道比土羽根線	1914	36.7	3.4	伊賀市 比土	34° 40′ 10.34″	136° 09′ 21.66″	梯子
28	BR0-242161-01275	諸木橋	市道腰山福川線	2001	17.9	10.8	伊賀市 諸木	34° 38′ 24.52″	136° 13′ 25.41″	梯子
29	BR0-242161-01276	山田橋	市道平田出後線	1954	73	2	伊賀市 平田	34° 45′ 58.46″	136° 12′ 40.22″	梯子
30	BR0-242161-01298	第二号前川原橋	市道前川原城ヶ前線	1975	19.7	4	伊賀市 畑村	34° 46′ 12.86″	136° 12′ 13.44″	梯子
31	BR0-242161-01299	富永橋	市道武/内大佛線	1933	33.1	4.5	伊賀市 富永	34° 45′ 59.53″	136° 16′ 23.53″	梯子
32	BR0-242161-01300	丸血橋	市道勝地奥山神社線	1975	17.7	4	伊賀市 勝地	34° 41′ 45.47″	136° 13′ 07.90″	梯子
33	BR0-242161-01301	久保橋	市道北山青山線	2002	18.1	3.5	伊賀市 北山	34° 41′ 18.60″	136° 12′ 34.76″	梯子
34	BR0-242161-01302	岡田橋	市道岡田大沢線	2011	50.5	13	伊賀市 阿保	34° 40′ 26.51″	136° 11′ 39.45″	梯子
35	BR0-242161-01344	大代橋	市道丸山岡波線	1982	24.2	4	伊賀市 上神戸	34° 42′ 01.80″	136° 09′ 55.30″	梯子
36	BR0-242161-01372	槇野橋	市道須原猿野線	1955	31.5	3.3	伊賀市 下阿波	34° 45′ 37.04″	136° 16′ 08.52″	梯子
37	BR0-242161-01373	天神橋	市道見曾野天神線	1966	36.6	2	伊賀市 下阿波	34° 45′ 33.65″	136° 15′ 55.13″	梯子
38	BR0-242161-01374	寺坂橋	市道寺坂野中線	1954	22.9	3.1	伊賀市 下阿波	34° 45′ 24.57″	136° 15′ 38.95″	梯子
39	BR0-242161-01375	瀬古口橋	市道西代ハヶ坪線	1933	23.9	2	伊賀市 下阿波	34° 45′ 15.85″	136° 15′ 31.92″	梯子
40	BR0-242161-01376	馬渡橋	市道三谷口線	1952	39.7	3.6	伊賀市 広瀬	34° 44′ 45.47″	136° 15′ 15.43″	梯子
41	BR0-242161-01377	安場橋	市道三谷前歌野線	1954	30.1	2.5	伊賀市 広瀬	34° 44′ 46.93″	136° 15′ 01.45″	梯子
42	BR0-242161-01378	高橋	市道横枕線	1949	31.8	2.5	伊賀市 川北	34° 45′ 00.68″	136° 14′ 20.12″	梯子
43	BR0-242161-01379	持中橋	市道持中酒屋垣内線	1967	44.1	3	伊賀市 中村	34° 45′ 39.32″	136° 13′ 30.14″	梯子
44	BR0-242161-01380	百々橋	市道溝之浦林仙線	1967	23.8	3	伊賀市 広瀬	34° 44′ 47.37″	136° 14′ 44.80″	梯子
45	BR0-242161-01381	庄屋橋	市道向後線	1954	18	3.6	伊賀市 奥馬野	34° 43′ 55.04″	136° 15′ 35.34″	梯子
46	BR0-242161-01382	高蔵橋	市道伊勢路高寺2号線	1956	18.5	4	伊賀市 下川原	34° 41′ 01.63″	136° 12′ 30.57″	梯子
47	BR0-242161-01383	後瀬橋	市道羽根間所線	1969	50.4	2.6	伊賀市 青山羽根	34° 39′ 52.52″	136° 10′ 13.59″	梯子
48	BR0-242161-01384	上川原橋	市道下川原比自岐線	2012	43.3	3.7	伊賀市 下川原	34° 41′ 02.42″	136° 12′ 12.49″	梯子
49	BR0-242161-01385	原池橋	市道高尾原池線	1961	16	3.6	伊賀市 高尾	34° 36′ 29.43″	136° 11′ 35.35″	梯子
50	BR0-242161-01386	葦谷橋	市道種生腰山線	1960	17.2	2.9	伊賀市 腰山	34° 37′ 48.13″	136° 12′ 45.61″	梯子
51	BR0-242161-01387	安場橋	市道種生小波田線	1960	22	2.5	伊賀市 種生	34° 37′ 52.45″	136° 10′ 57.06″	梯子
52	BR0-242161-01402	第六号赤川橋	市道下町南裏滝ヶ鼻線	1977	19.7	4	伊賀市 平田	34° 46′ 19.88″	136° 12′ 35.95″	梯子
53	BR0-242161-01403	川久保橋	市道川久保観音寺線	1956	17.9	1.6	伊賀市 下阿波	34° 45′ 12.22″	136° 15′ 29.07″	梯子
54	BR0-242161-01404	第一号元町橋	市道元町別府線	1963	23.4	2	伊賀市 上阿波	34° 46′ 21.02″	136° 17′ 45.81″	梯子
55	BR0-242161-01405	ハジカミ橋	市道富永線	1967	15	3	伊賀市 富永	34° 46′ 28.86″	136° 16′ 23.37″	梯子
56	BR0-242161-01406	第四号西谷端橋	市道富永線	1968	20	3	伊賀市 富永	34° 46′ 30.58″	136° 16′ 02.73″	梯子
57	BR0-242161-01461	出後橋	市道出後線	1954	49	2	伊賀市 出後	34° 45′ 17.61″	136° 13′ 37.63″	梯子
58	BR0-242161-01462	第一号笠取橋	市道笠取線	1995	15.7	5.8	伊賀市 上阿波	34° 46′ 17.68″	136° 18′ 14.80″	梯子

59	BR0-242161-01463	第三号笠取橋	市道笠取線	1998	16.2	5.2	伊賀市	上阿波	34° 45′ 40.88″	136° 18′ 18.72″	梯子
60	BR0-242161-01464	第四号笠取橋	市道笠取線	2004	15.7	5	伊賀市	上阿波	34° 45′ 39.42″	136° 18′ 39.42″	梯子
61	BR0-242161-01469	厨田橋	市道平松代元町線	1985	17.5	4	伊賀市	上阿波	34° 46′ 20.47″	136° 17′ 22.00″	梯子
62	BR0-242161-01470	別府橋	市道平松代元町線	1985	20.5	4	伊賀市	上阿波	34° 46′ 19.04″	136° 17′ 34.63″	梯子
63	BR0-242161-01471	石打橋	市道柏尾老川線	1971	18	3	伊賀市	柏尾	34° 40′ 11.16″	136° 11′ 42.03″	梯子
64	BR0-242161-01472	川南橋	市道勝地墓地線	1996	34.3	4.3	伊賀市	勝地	34° 41′ 45.43″	136° 13′ 07.97″	梯子
65	BR0-242161-01473	勝地橋	市道勝地妙楽地線	1973	20	6	伊賀市	北山	34° 41′ 56.39″	136° 13′ 34.51″	梯子
66	BR0-242161-01474	滝仙寺橋	市道滝滝仙寺線	1993	18.8	4	伊賀市	滝	34° 42′ 20.46″	136° 14′ 06.06″	梯子
67	BR0-242161-01475	勝地大坪橋	市道勝地猪木大坪線	1996	31.8	4	伊賀市	勝地	34° 41′ 47.33″	136° 13′ 20.06″	梯子
68	BR0-242161-01476	城山橋	市道老川城山橋線	1998	15.1	7.5	伊賀市	老川	34° 38′ 16.34″	136° 11′ 57.68″	梯子
69	BR0-242161-01477	中出橋	市道高尾中出3号線	1979	16	3	伊賀市	高尾	34° 35′ 57.69″	136° 12′ 10.46″	梯子

平均橋長
平均幅員

橋長15m以上
点検車
18橋
46.6
5.3

橋長15m以上
梯子
51橋
27.0
3.9

特 記 仕 様 書

1. 目的

本業務は、伊賀市が管理する橋梁の現状を把握し、橋梁の維持管理に必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2. 適用図書

本業務の橋梁点検に関する作業については、「伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」によること。

3. 点検従事者について

点検業務に従事する者のうち 1 名は、「三重県橋梁点検技術者講習会」を受講し、受講証明書の交付を受けた者とする。

4. 点検業務について

（1）計画準備

① 業務計画書

- ・伊賀市より貸与された資料等をもとに、業務計画書を作成する。
- ・業務計画書には、「三重県橋梁点検技術者講習会」の受講証明書を添付すること。

② 図面作成

- ・伊賀市により提供された橋梁台帳により、チェックシートの概略図を作成する。
- ただし、橋梁一般図等がない場合は、請負者において現地調査を行い、点検要領に基づく点検に必要な概略図を作成すること。

（2）現地踏査

- ・橋梁点検に先立って現地調査を行い、点検計画を策定するために必要な進入路、交通状況等を把握すること。

（3）関係機関協議

- ・他機関との協議が必要な橋梁については、監督員へ報告すること。

（4）点検

- ・「伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」に基づき点検を行う。また、必要に応じて橋梁台帳の記載事項（塗装面積、高欄の種類、落橋防止施設の種類等）を補完するために現地で調査を行う。なお、支承については、損傷がなくても各支点（橋台・橋脚）で 1 ヶ所写真を撮影すること。
- ・支承等に土砂が被さっている場合は、それを撤去したうえで点検を行うこと。

(5) 点検調書作成

- ・点検結果をもとに、伊賀市橋梁点検要領（案）のチェックシートを清書し、写真等の整理を行う。
- ・点検結果を発注者が提供するエクセルシートに入力すること。

(6) 打合せ

- ・作業計画書をもとに、調査方法、内容等を打ち合わせるとともに、発注者より橋梁点検に必要な資料等の貸与を受けること。

(7) 安全管理

- ・本業務を実施するにあたり、本特記仕様書に定める図書のほか、関連法令等を遵守し、作業の安全確保に努めること。

(8) 土地の立ち入り等について

- ・本業務を実施するために第三者の土地に立ち入る場合、または、第三者所有の草木等の伐採が必要な場合は、受注者において了解を得ること。

(9) 健全度評価

- ・本業務で点検を行った橋梁について、「伊賀市橋梁点検要領（案）損傷事例」を参考に、損傷度の見直しを行い、橋梁の健全度評価（４段階）を行うこと。

(10) その他

- ・本特記仕様書に定めないものは、「三重県業務委託共通仕様書」によるものとする。

(11) 工程管理（履行報告）

- ・業務計画書に基づき全体工程を作成し、毎月末の履行状況を所定の様式に基づき作成し、翌月の３日までに監督員に提出すること。なお、工程に遅れが生じている場合は、全体工程を修正し、履行状況の提出に併せて修繕全体工程表を提出すること。

(12) 橋梁点検データの整理について

- ・伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月 P 85 から P 96 に基づくこと。
- ・データの整理が完了後、橋梁点検データを三重県建設技術センターでフォルダ構成等の作業を行いますので、不適合が見受けられた場合は、修正等の作業を行うこと。なお、時期については監督員と協議を行うこと。

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書① (橋梁点検用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収蔵媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収蔵媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収蔵媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、発注者より作成の指示のあった場合は、別途発注者より提供する様式「橋梁基本情報登録」において、必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 発注者より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、発注者に改変内容を書面にて提示しなければならない。

4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- （１）橋梁点検に関する保管用データは、別途「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」に示す構成により取りまとめ、格納しなければならない。
- （２）報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を作成し、格納しなければならない。
- （３）報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
- （４）報告書フォルダーには、発注者より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
- （５）各橋梁毎のデータについては、各橋梁毎にフォルダーを作成し、各種様式類や損傷写真、損傷図等を仕分けして格納しなければならない。このときファイルの形式（ExcelやWord、PDFなど）については、特に指定はなく、関連するデータを格納する。
- （６）成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。
- （７）チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- （８）その他記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- （９）本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

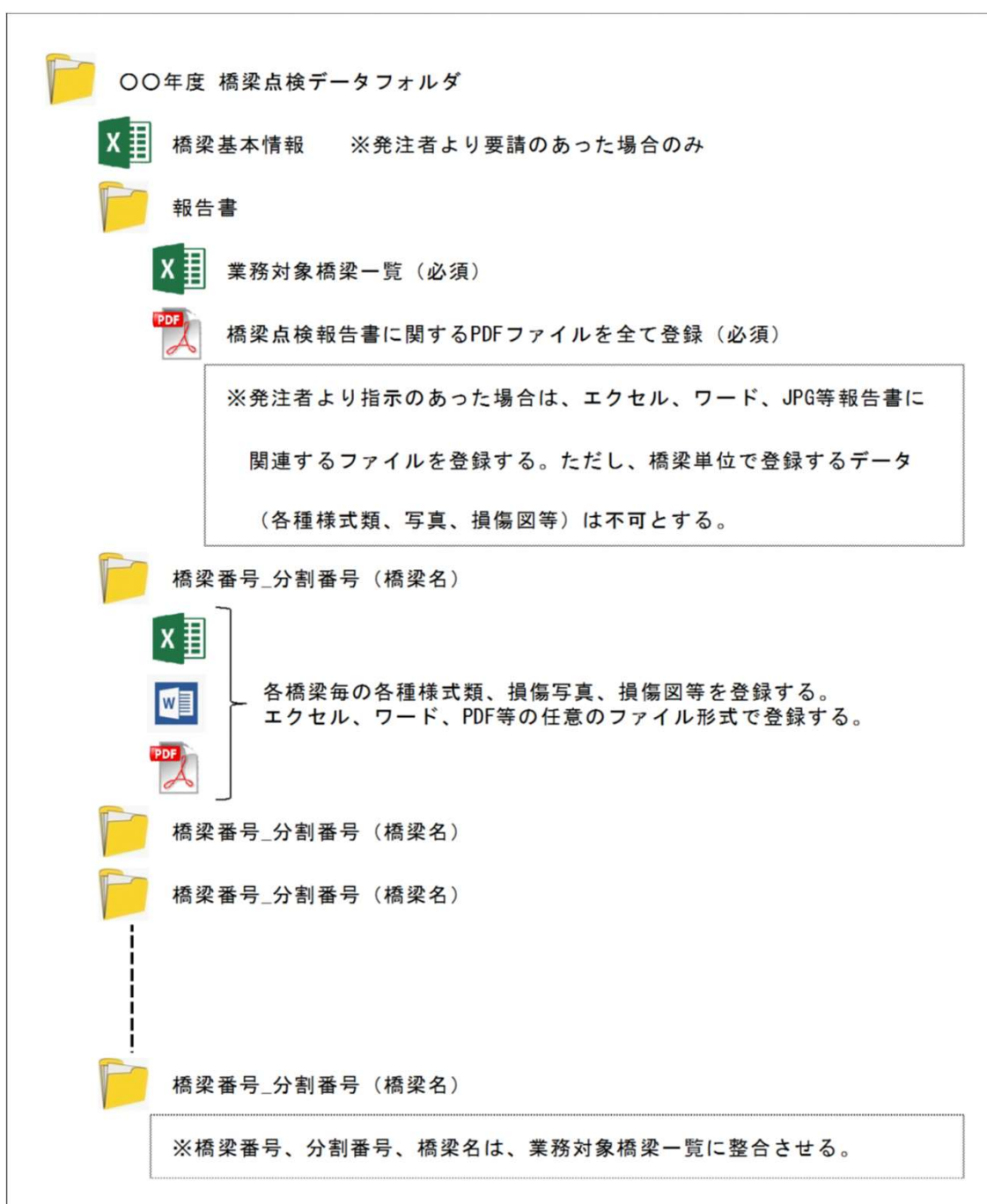
【参考資料】

1. 「橋梁基本情報登録」について

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が
入力必須項目となる。

2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について



3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書② (橋梁点検用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収蔵媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収蔵媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収蔵媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、発注者より作成の指示のあった場合は、別途発注者より提供する様式「橋梁基本情報登録」において、必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 発注者より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、発注者に改変内容を書面にて提示しなければならない。

4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- （１）橋梁点検については別途特記仕様書に示されている「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」に基づき実施し、保管用データを取りまとめ格納しなければならない。
- （２）報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を作成し、格納しなければならない。
- （３）報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
- （４）報告書フォルダーには、発注者より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
- （５）その他「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」に記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- （６）成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。
- （７）チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- （８）本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

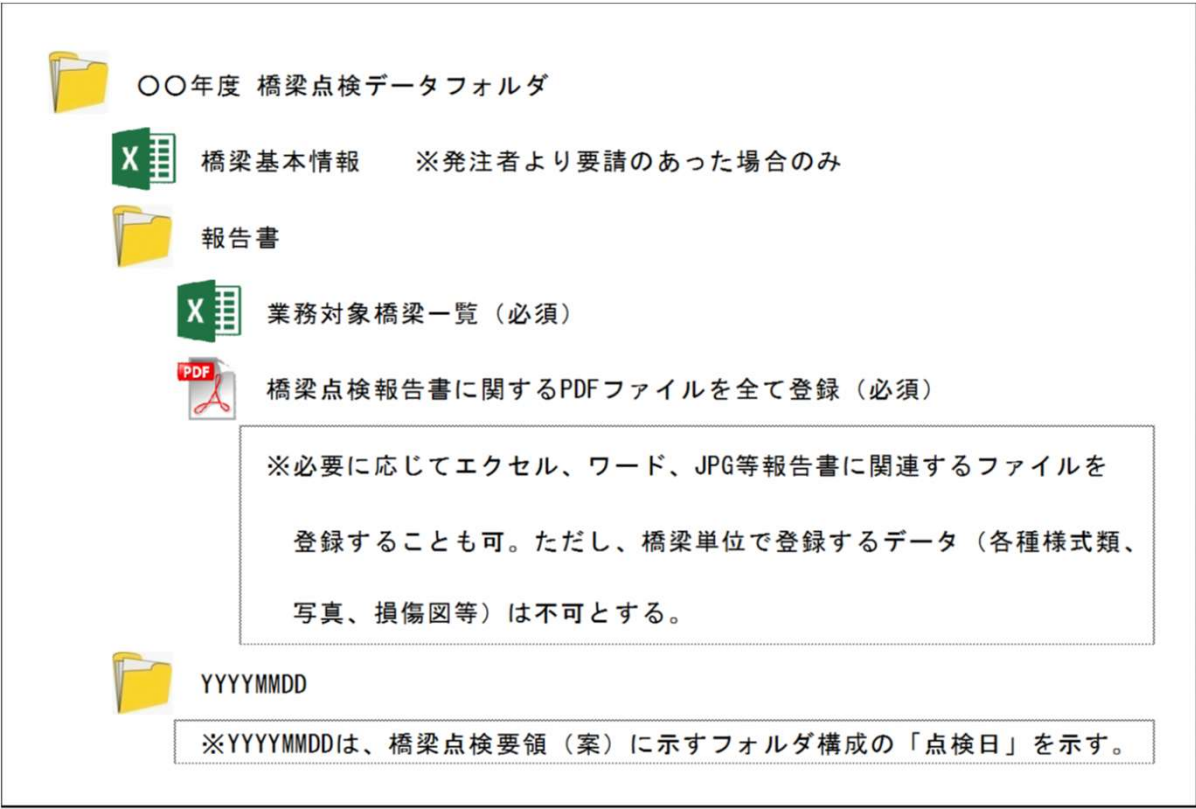
【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

【参考資料】**1. 「橋梁基本情報登録」について**

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が
入力必須項目となる。

2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について

The diagram illustrates the folder structure for bridge inspection data. It shows a main folder named '〇〇年度 橋梁点検データフォルダ'. Inside this folder are several items: a folder icon for '〇〇年度 橋梁点検データフォルダ', an Excel icon for '橋梁基本情報' with a note '※発注者より要請のあった場合のみ', a folder icon for '報告書', an Excel icon for '業務対象橋梁一覧（必須）', and a PDF icon for '橋梁点検報告書に関するPDFファイルを全て登録（必須）'. A text box explains that files like Excel, Word, and JPG related to reports can be registered, but forms and photos cannot. At the bottom, a folder icon is labeled 'YYYYMMDD', and a text box explains that 'YYYYMMDD' represents the inspection date from the 'Bridge Inspection Summary (Draft) 2017'.

〇〇年度 橋梁点検データフォルダ

橋梁基本情報 ※発注者より要請のあった場合のみ

報告書

業務対象橋梁一覧（必須）

橋梁点検報告書に関するPDFファイルを全て登録（必須）

※必要に応じてエクセル、ワード、JPG等報告書に関連するファイルを
登録することも可。ただし、橋梁単位で登録するデータ（各種様式類、
写真、損傷図等）は不可とする。

YYYYMMDD

※YYYYMMDDは、橋梁点検要領（案）に示すフォルダ構成の「点検日」を示す。

※各橋梁毎に格納するデータ等のフォルダー構成やファイル形式、細則等については
「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」による。

3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.1

明示項目		明示事項（条件及び内容）
ア	適用図書	☒ 設計業務等委託契約書 ☒ 設計業務等共通仕様書（三重県）【平成27年11月制定】 部分改正を行った内容も含む（最新改正 平成30年 7 月） ☐ 三重県公共工事共通仕様書（三重県）【平成28年 7 月制定】 部分改正を行った内容も含む（最新改正 年 月） ☒ その他（三重県を伊賀市と読み替える。）
イ	業務計画等	☒ 契約締結後 14 日以内に業務計画書（工程表）を監督員に提出する。 ☒ 業務完了の10日前までに数量報告書（工種、設計数量、実施数量等を記載）を監督員に提出する。 ☒ 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。 ☐ その他（ ）
ウ	成果の提出	☐ 電子記憶媒体で提出すること。 ☒ 本業務における成果物の提出部数は、（ ☐ 3 部 ☒ （ 2 ）部）とする。 ☒ 指示する期日までに提出する成果物あり。（監督員と協議。） ☒ 検査用として成果物の印刷物（A 4 版簡易ファイル、年度・委託名・完成年月・受発注者名を明示、図面は袋とじ）を 1 部提出する。 ☐ その他（ ）
エ	工程関係	☐ 別途業務との工程調整の必要あり （別途業務名： ） ☐ 関係機関との協議の必要あり（別途資料作成必要あり） ☒ その他（毎月末の履行報告書を翌月 3 日までに監督員に提出すること。） （工程に遅れが生じている場合は、全工程を修正し、履行報告書の提出に併せて修正全体工程表を提出すること。）
オ	管理技術者の要件	管理技術者は、（ ☐ 下記の者 ☒ 下記のいずれかの者）とする。 ☒ 技術士 （ ☒ 建設 部門 鋼構造物及びコンクリート 科目 ☐ 部門・科目を問わない） ☒ 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） ☒ R C C Mの資格保持者 （ ☒ 鋼構造物及びコンクリート 部門、 ☐ 部門を問わない） ☐ 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者
	管理技術者の の その他要件	☒ 配置予定技術者届出書に記載した技術者を契約時に配置しなければならない。 ☒ その他（監理技術者及び照査技術者の兼務はできないものとする。）

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和元年7月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.2

明示項目		明示事項（条件及び内容）	
カ	照査技術者	☐	概略・予備・詳細設計等については、照査技術者を定めなければならない。
		☒	次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 （業務全般）
	照査技術者の要件	照査技術者は、（ ☐ 下記の者 ☒ 下記のいずれかの者）とする。 ☒ 技術士 （ ☐ 道路 部門 科目、 ☐ 部門、 ☒ 部門・科目を問わない） ☒ 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） ☒ R C C Mの資格保持者 （ ☐ 道路 部門、 ☐ 部門を問わない） ☐ 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 ☒ その他（監理技術者及び照査技術者の兼務はできないものとする。）	
	照査の実施	☒	照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。 ☒ 詳細設計照査要領（（社）中部建設協会発行） ☐ その他（ ）
キ	打合せ等	☒	設計業務等着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。
		☒	中間打合せ回数は 1 回とする。 ☒ 中間打合せについては、管理技術者が出席するものとする。 ☒ 照査技術者については（ ☒ 設計業務着手時 ☒ 中間打合せ 1 回 ☒ 成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む））の打合せに出席するものとする。
ク	資料の貸与	☒	発注者の貸与する資料は、次のとおりとする。 （道路台帳）

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和元年7月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.3

明示項目		明示事項（条件及び内容）	
ケ	業務条件	☐	業務条件は下記のとおりとする。
コ	その他	☒	成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。
		☒	設計に採用する材料等について、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定リサイクル製品に該当する材料等がある場合は、採用を検討すること。 検討した結果、該当する材料等については、監督員と協議のうえ、成果物（設計図面、数量計算書等）の使用材料を表示する欄に「認定リサイクル製品」と記載すること。
		☒	暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第11号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和元年7月

橋梁基本											
管理者		道路種別		路線番号		路線名		整理番号		整理番号	
基本諸元	(ふりがな)			橋梁コード		市町村名		大字小字名			
	橋名			分割番号							
	現旧新別			橋梁種別		橋梁分類		路面位置			
	上部工構造形式			架設年次		橋格		センサス年度			
	上部工使用材料			橋長(m)		現況		センサス番号			
	上部工床版形式			最大支間長(m)		耐荷荷重		自動車類交通量			
	下部工基礎			総径間数		設置箇所		大型車交通量			
	舗装種別			(単位 m)	全幅員	車道幅員	路肩幅員左	路肩幅員右	歩道幅員左	歩道幅員右	中央帯幅員
	適用示方書			幅員構成							
	緊急輸送道路指定			管理グループ		橋梁中心X座標		橋梁中心Y座標			
	架橋状態			備考							
	概略側面図・断面図・平面図							全景写真1			
								全景写真2			

点検調書（1/1）		点検区分		（定期）・緊急		前回点検日				径間番号				上部工構造形式			
		点検方法		（目視）・調査		点検種別		（直営）委託・その他		支間長（m）				下部工構造形式			
橋梁名				橋梁コード				建設部名				路線番号					
				分割番号				道路種別				路線名					
点検日				点検会社名								点検者名					
部材（部位）		前回点検の評価				代表的な損傷状況・位置などの概要								損傷度 （最悪値）	健全性 （4段階）	写真 番号	
		点検区分	損傷度 （最悪値）	健全性 （4段階）	写真 番号	点検区分	記 事										
橋面工 （その他）	路面																
	伸縮装置																
	高欄等																
	排水施設																
上部工	その他付属物																
	主桁																
	横桁・縦桁																
	床版																
下部工	下部工躯体																
	基礎																
支 承	本体																
	アンカーボルト																
	落橋防止システム																
	モルタル																
その他 部 位 （部材）	点検施設																
	遮音施設																
	照明施設																
	添架物																
全体 損傷 概要											健全性	内容					
											I	構造物の機能に支障が生じていない状態					
											II	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状					
											III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態					
											IV	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が					
備 考																	

損傷スケッチ図（1/〇）

橋 梁 名		橋梁コード		建 設 部 名		路線番号	
		分割番号		道 路 種 別		路 線 名	
点 検 日		点 検 会 社 名		点 検 者 名		市町村名	

上部工 or 下部工損傷位置図

損傷写真集（1/〇）

橋 梁 名			橋梁コード		建 設 部 名			路 線 番 号							
			分割番号		道 路 種 別			路 線 名							
点 検 日		点 検 会 社 名			点 検 者 名			市 町 村 名							
			写真番号					写真番号							
			径間番号					径間番号							
			部材番号					部材番号							
			損傷状況					損傷状況							
										健全性			健全性		
										備考		備考			
								写真番号					写真番号		
								径間番号					径間番号		
								部材番号					部材番号		
損傷状況		損傷状況													
						健全性			健全性						
						備考		備考							

補修履歴調書（１／〇）	橋 梁 名	橋梁コード		建設部名	
		分割番号		道路種別	
		径間番号		上部工構造形式	
		支間長(m)		上部工使用材料	
項目	内容	損傷概要のわかる図面		損傷概要のわかる写真	
補修No.					
補修および改良年月日					
対象部材					
補修・改良理由					
損傷原因					
補修・改良工法					
工事費用（百万）					
適用示方書					
補修補強面積（m2）					
備考					
項目	内容	損傷概要のわかる図面		損傷概要のわかる写真	
補修No.					
補修および改良年					
対象部材					
補修・改良理由					
損傷原因					
補修・改良工法					
工事費用（百万）					
適用示方書					
補修補強面積（m2）					
備考					
コメント					

点検項目			県市町名		路線名		橋種		点検日				
			橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者				
			橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号				
										上部工塗装面積			
点検項目			損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
				該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	A (健全性:Ⅰ～Ⅱ)					
1	橋面	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。					供用性を評価
2			舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。 密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。 発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。					
3		伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっている。直角方向にずれている。	装置の櫓の歯が完全に離れている。 桁とバラベツトあるいは桁同士が接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形によるせり上がり等により、第三者に障害を及ぼす懸念がある。					供用性を評価
4			路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。					伸縮装置固定部の後打ちコンクリートを評価
5			鋼製ジョイントの場合 腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食がある。	鋼材表面全体に錆が発生している。 櫓の歯の一部に軽微な破断や欠損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少がある。 櫓の歯に比較的大きな亀裂や破断がある。	櫓の歯の破断や欠損により、通行車両等に障害(パンク、転倒)を及ぼす懸念がある。					
6			変形・欠損、漏水など (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大きな変形や欠損がある。 欠損箇所から橋面下への漏水が見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。 第三者の通行に支障がある。					
7		高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	腐食・変形・欠損など	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。 部材等の変形、欠損はない。 (コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。 部材等の変形、欠損はあるが軽微である。 (コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。 部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。 支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。 (コンクリート部材の場合)部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や通行人に支障がある。 (コンクリート部材の場合)損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や通行人に支障がある。					供用性を評価
8		排水施設 柵、管	腐食・変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局所的に変形している。 排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分的に欠損している。 柵の一部に変形や欠損がある。	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機能不全を生じている。 排水柵が消失し空隙が生じ第三者の通行に支障がある。					供用性を評価
9		その他付属物	腐食・変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局所的に変形し、一部が著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形したり、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者の通行に支障がある。					供用性を評価

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日					
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者					
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号					
												上部工塗装面積			
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:Ⅰ～Ⅲ)	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)						
10	上部工	鋼	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広くし点錆が発生している。 耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。				耐荷性に直接影響する		
11				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支点付近に)ある。						
12				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。						
13				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点や支間中央付近など)ある。						
14			横桁・縦桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない(錆び面積50%以上)である。 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。				耐荷性に影響する部材		
15				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。						
16				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。						
17				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。						
18			床版	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。				耐荷性に影響する部材		
19				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。						
20				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。						
21				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。						

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日				
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者				
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号				
										上部工塗装面積				
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ)	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)					
22	上部工	コンクリート	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅03mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。					耐荷性に直接影響する
23				PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。					
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。					
25				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。					
26				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局部的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。					
27			横桁・縦桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅03mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。					耐荷性に影響する部材
28				PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。					
29				剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。					
30				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。					
31				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐荷力に影響すると思われる変形や欠損がある。					
32			床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。					耐荷性に直接影響する
33				漏水・遊離石灰、 うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。					
34				抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。					
35				床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化し、耐荷力に影響すると思われる。					
36				定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。					
37					漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	—	—				

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日					
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者					
				橋梁名		位置(終点側)		総経間数		点検経間番号					
											上部工塗装面積				
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ))	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)						
38	下部工	鋼	橋脚躯体	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。				耐荷性に影響する部材		
39				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。						
40				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。						
41				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損がある。						
42		コンクリート	橋台躯体・橋脚躯体	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5mm未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。						
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。						
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐荷力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。						
45		基礎		沈下,移動,傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。						
46				洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。						
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ))							
47	その他	支	本体	腐食,亀裂,ゆるみ・脱落,破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。							
48				支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定,可動,回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。							
49				変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形,欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。							
50		アンカーボルト	腐食,亀裂,ゆるみ・脱落,破断など	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	—								
51			腐食,破断,変形,欠損,ひび割れ,剥離,鉄筋露出	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	—								
		落橋防止システム	種類	□鋼 □コンクリート □PC鋼材連結 □突起 □桁下鋼材突起 □ピン連結 □チェーン連結 □沓座拡幅											
52			モルタル	ひび割れ,変形・欠損	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	—							
53			その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	—						下部工背後の凹凸等		

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目		県市町名	路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1			
		橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)	橋長(m)	100	点検者	三重 太郎			
		橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)	総経間数	3	点検経間番号	1			
							上部工塗装面積	---			
損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である								写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
点検項目		損傷状況	該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)				
1	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。		箇所	箇所	凹凸なし
2		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。 密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。		m2	m2	
3	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっている。直角方向にずれている。	装置の櫛の歯が完全に離れている。桁とバラベツあるいは桁同士が接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形によるせり上がり等により、第三者に障害を及ぼす懸念がある。		箇所	箇所	
4		路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。		箇所	箇所	
5		鋼製ジョイントの場合 腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食がある。	鋼材表面全体に錆が発生している。櫛の歯の一部に軽微な破断や欠損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少がある。櫛の歯に比較的大きな亀裂や破断がある。	櫛の歯の破断や欠損により、通行車両等に障害(バンク、転倒)を及ぼす懸念がある。		箇所	箇所	
6		変形・欠損、漏水など (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大きな変形や欠損がある。 欠損箇所から橋面下への漏水が見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。第三者の通行に支障がある。		箇所	箇所	ゴム欠損 漏水あり
7		高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	腐食、変形・欠損など	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。 部材等の変形、欠損はない。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。 部材等の変形、欠損はあるが軽微である。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。 部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。 支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。 (コンクリート部材の場合) 部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や通行人に支障がある。 (コンクリート部材の場合) 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や通行人に支障がある。		m	m
8	排水施設 柵、管	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形している。 排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分的に欠損している。 柵の一部に変形や欠損がある	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機能不全を生じている。 排水柵が消失し空隙が生じ第三者の通行に支障がある。		箇所	箇所	排水管欠損
9	その他付属物	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形し、一部が著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形したり、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者の通行に支障がある。		箇所	箇所	照明灯錆

損傷程度評価に○を付ける。
概算数量及び備考を記入。

現地点検時、塗装履歴が表示されてい
るときは、その面積を記入

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目	県市町名	路線名	橋種	点検日
	橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者
	橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検経間番号
	〇〇〇〇	〇〇〇〇	100	2015/4/1
	〇〇橋		3	三重 太郎
				1
				上部工塗装面積

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目				損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
				該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: (I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
10	上部工	鋼	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広くし点錆が発生している。 耐力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。	m2	m2	耐力性に直接影響する
11				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支点付近)にある。	箇所	箇所	
12				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
13				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。	箇所	箇所	
14	上部工	鋼	横桁・縦桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。	m2	m2	耐力性に影響する部材
15				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。	箇所	箇所	
16				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。	箇所	箇所	
17				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。	箇所	箇所	
18		床版		腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。	m2	m2	耐力性に影響する部材
19				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。	箇所	箇所	
20				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。	箇所	箇所	
21				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力性に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。	箇所	箇所	

サンプルは、コンクリート上部工のため「部材無し」に○を付ける。

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目	県市町名	路線名	橋種	点検日
	橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者
	橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号
				2015/4/1
				三重 太郎
				1
				上部工塗装面積

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
			該当部材 無し	OK (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
22	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。		m2	m2	ひび割れ下面 0.05mm、側面 0.15mm
23		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。		m2	m2	
24		剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。		m2	m2	なし
25		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。		m2	m2	遊離石灰が少し見られる
26		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局部的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。		箇所	箇所	なし
27		RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。		m2	m2	ひび割れ0.15mm
28		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。		m2	m2	
29		剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。		m2	m2	なし
30		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。		m2	m2	遊離石灰が少し見られる
31		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐荷力に影響すると思われる変形や欠損がある。		箇所	箇所	なし
32	床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。		m2	m2	なし
33		漏水・遊離石灰、 うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。	1	m2	m2	
34		抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。		m2	m2	
35		床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化した、耐荷力に影響すると思われる。	1	m2	m2	幅0.15mm 間隔0.5m
36		定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。		箇所	箇所	
37		漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	—	—		箇所	箇所	

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目				県市町名	路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1		
				橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)	橋長(m)	100	点検者	三重 太郎		
				橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)	総径間数	3	点検径間番号	1		
								上部工塗装面積				
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: (I ~ III))	A (健全性: II ~ IV)					
38	鋼	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。			m2	m2	
39		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。			箇所	箇所	
40		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			箇所	箇所	
41		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。			箇所	箇所	
42	コンクリート	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。			2.0	m2	0.4mm、0.4m
43		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スタラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スタラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。			m2	m2	
44		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。			m2	m2	
45	基礎	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。			cm	cm	詳細調査
46		洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。			箇所	箇所	
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: (I ~ III))						
47	その他	本体	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。			m2	m2	A1 4箇所
48			支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定、可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。			箇所	箇所	腐食による
49			変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。			箇所	箇所	
50		アンカーボルト	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	—			箇所	箇所	なし
51			落橋防止システム	腐食、破断、変形、欠損、ひび割れ、剥離、鉄筋露出	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	—			箇所	箇所
		種類		□鋼 □コンクリート □鋼材連結 □突起 □桁下鋼材突起 □ピン連結 □チェーン連結 ☒ 沓座拡幅								
52	モルタル	ひび割れ、変形・欠損	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	—			箇所	箇所		
53		その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	—			箇所	箇所		

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

ボックスカルバート用チェックシート

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日		
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者		
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号		
										上部工塗装面積		
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)					
1	橋 面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm 以上)損傷がある。				供用性を評価	
2		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下であ る。 密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さ が床版に達している。発生箇所 数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗 装直下のコンクリートが土砂化し ている。 発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必 要とするような損傷がある。					
7		高欄・防護柵・ 地覆・中央分離 帯	腐食,変形・欠損な ど	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はなく、錆 びの面積は50%未満。 部材等の変形、欠損はない。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はないが、 錆びの面積は50%以上。 部材等の変形、欠損はあるが軽 微である。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の 減少や断面欠損があるが、錆び の面積は50%未満。 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。 支柱下地覆が欠損し支柱が浮い ている。 (コンクリート部材の場合) 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や 腐食による断面欠損があり、錆びの面積 が50%以上である。 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。 (コンクリート部材の場合) 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。				供用性を評価
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
32	上 部 工	コン クリ ート 主桁 (頂版)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露 出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ) が露出しているが腐食は軽微で ある。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ) が露出し腐食が著しく僅かに断 面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著 しく、耐荷力に影響すると思われる断面減 少が見られる。				耐荷性に直接影響する
33			漏水・遊離石灰、 うき,変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび 割れから漏水が生じているが、錆 汁や遊離石灰はほとんどみられ ない。	コンクリートの劣化が激しい。ひ び割れから著しい漏水や遊離石 灰,, 錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水によ る遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄 筋の劣化が進み材料強度低下が考えら れ耐荷力に影響を与えている。				
34			抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。				
35			床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発 生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発 生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ,ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達し て、構造が等方性版から異方性へと変化 し、耐荷力に影響すると思われる。				
36			定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認 められる。または定着部に損傷 が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリート が剥離している。または定着部に 著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が 見られる。				
37			漏水・滞水	部材無し	損傷なし	—	—	伸縮や排水装置等からの漏水がある。 支承付近に漏水による滞水がある。				

42	下部工	コンクリート	橋台 (側壁・底版)	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。				
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。				
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や漏水等による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。				
45		基礎	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
46			洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
53			その他			部材無し	損傷なし	損傷あり	—				

チェックシート(損傷図)

点検項目	管理事務所		路線名		橋種		点検日																
	橋梁コード				橋長(m)		点検者																
	橋梁名				総径間数		点検径間番号																
備考および概略図	※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。																						
	<table><tr><th colspan="2">凡 例</th></tr><tr><td>ひび割れ</td><td></td></tr><tr><td>遊離石灰</td><td></td></tr><tr><td>剝離</td><td></td></tr><tr><td>漏水</td><td></td></tr><tr><td>鉄筋露出</td><td></td></tr><tr><td>豆板・空洞</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td></tr></table>								凡 例		ひび割れ		遊離石灰		剝離		漏水		鉄筋露出		豆板・空洞		その他
凡 例																							
ひび割れ																							
遊離石灰																							
剝離																							
漏水																							
鉄筋露出																							
豆板・空洞																							
その他																							
点検結果の整理	損傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)	損傷の総合評価(部材単位) コメント				備 考																	
	路面																						
	伸縮装置																						
	高欄・防護柵																						
	排水施設																						
	その他付属物																						
	主桁																						
	横桁・縦桁																						
	床版																						
	下部工躯体																						
	基礎																						
	支承																						

チェックシート(損傷図)

点検項目	管理事務所		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2010/2/1													
	橋梁コード	〇〇〇〇			橋長(m)	100	点検者	三重 太郎													
	橋梁名	〇〇橋			総径間数	12	点検径間番号	1													
備考および概略図	※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。																				
	四日市 スケッチ図を描き、 損傷箇所を明記する <table border="1"><caption>凡 例</caption><tr><td>ひび割れ</td><td></td></tr><tr><td>遊離石灰</td><td></td></tr><tr><td>剥離</td><td></td></tr><tr><td>漏水</td><td></td></tr><tr><td>鉄筋露出</td><td></td></tr><tr><td>豆板・空洞</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td></tr></table> 点検結果を記								ひび割れ		遊離石灰		剥離		漏水		鉄筋露出		豆板・空洞		その他
ひび割れ																					
遊離石灰																					
剥離																					
漏水																					
鉄筋露出																					
豆板・空洞																					
その他																					
点検結果の整理	損傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)		損傷の総合評価(部材単位)			コメント			備考												
	路面	B1	舗装のひび割れが伸縮装置付近で発生している。																		
	伸縮装置	B2	一部欠損をしている。																		
	高欄・防護柵	OK																			
	排水施設	B1	排水管が欠損している。																		
	その他付属物	B1	照明灯が腐食している。																		
	主桁	OK	ひび割れ幅が0.15mm程度で、下面、側面に見られる。																		
	横桁・縦桁	OK																			
	床版	B1	端部に漏水、遊離石灰が見られる。																		
	下部工躯体	A	橋台パラペット部にひび割れがある。																		
	基礎	不明																			
支承	B1	全体に腐食している。																			

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度		橋梁ID
(フリガナ)						
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者			
定期点検時に記録			応急措置後に記録				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版						
下部構造							
支承部							
その他							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
橋梁形式		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造()【判定区分: 】	上部構造()【判定区分: 】
支承部【判定区分: 】	下部構造【判定区分: 】